



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.23～

「お子様が怖がるものは何ですか？」

嫌いなものは身近なもの、怖いものは未知のもの

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

実施時期：1997年2月

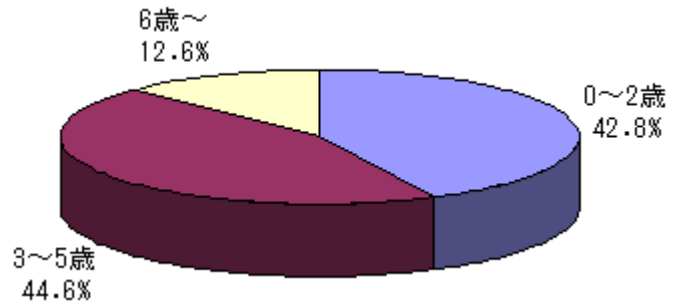
質問内容：お子様が怖がるものは何ですか？

有効回答数：605人

男女総計 605人

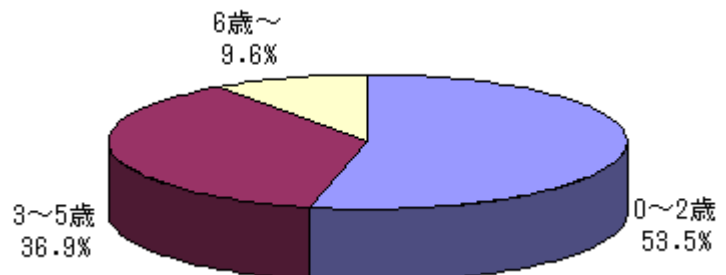
男児

年齢内訳	人数
0～2歳	143人
3～5歳	149人
6歳～	42人
合計	334人



女兒

年齢内訳	人数
0～2歳	145人
3～5歳	100人
6歳～	26人
合計	271人



<アンケート総合結果>

★男児総合結果(381人中 複数回答含む)

☆女兒総合結果(294人中 複数回答含む)

怖いもの	パーセント
1. おばけ	16.5%
2. 暗い所(暗闇)	11.4%
3. 虫(クモ、ゴキブリなど)	7.5%
4. 鬼、鬼の面	5.7%
5. 雷	4.5%
6. 怪獣(人形含む) 掃除機の音	3.6%
8. 怒ったお母さん	3.3%
9. ショーの着ぐるみ	2.7%
10. 宇宙人	1.5%
11. 恐竜 猫	1.2%
13. 怒ったお父さん 強風の音	1.2%
15. トイレ	1.2%

怖いもの	パーセント
1. おばけ	13.7%
2. 暗い所(暗闇)	7.0%
3. 虫(クモ、ゴキブリなど)	6.3%
4. 鬼、鬼の面	5.5%
5. 雷 掃除機の音	3.7%
7. 怒ったお母さん	3.3%
8. トイレ 犬	2.2%
10. 怒ったお父さん サイレンの音 生き物	1.8%
13. TVの砂嵐 怪獣 大きな音 動くおもちゃ	1.5%

<アンケート結果より>

男女ともおばけが1位、2~5位も暗い所、虫、雷、鬼と全く同じものが並び怖いものについては男女差はほとんどないことがわかる。また今回は通常に比べ6歳以上のこどもの回答が少なく、これは大きくなるほど怖いものが少なくなっているからではないかと予想される。

★嫌いなもの、怖いものの違いは

1995年8月に行ったバンダイこどもアンケートレポート「お子様が嫌いなものは何ですか？」(968人調査)では男女とも17%以上が「虫」と回答し圧倒的な1位となった。一方今回の調査ではおばけが1位となり、こどもにとっての嫌いなものは身近で実際に接するもので、怖いものは見たことがない(であろう)未知のものである傾向がわかる。

★怖いものはしつけに利用

親の側ではおばけや鬼などの実際に見えないものをしつけに利用しているケースが多く、こどもが言うことを聞かない場合に「いい子にしないと〇〇がくるよ～」というように使っている。ちなみに鬼を怖がるようになった原因は、節分行事の時という場合がかなりみられた。

★お父さんよりお母さんが怖い

お母さんにショックかもしれないが、怒ったお母さんが怖いと答えたこどもは怒ったお父さんが怖いと答えたこどもの倍近くになった。しかしこれはお母さんがお父さんの倍厳しく怒るのではなく、お父さんより怒る機会が多いためのようなのだ。

★小さいこどもほど音に敏感

0～2歳と3～5歳のこどもでは掃除機の音や雷、サイレン音などいろいろな種類の音を合計すると1位になる。ただ小さいこどもの場合心理的に怖いというよりビックリするというのが本当のところのようだ。実際に0～2歳では全体の約1/3が音関連なのに対して3～5歳では約1/5に下がってきている。

年齢別結果

★0～2歳男児（153人中 複数回答含む）

1. おばけ	9.8%
2. 掃除機の音 鬼、鬼の面	6.3%
4. 虫（クモ、ゴキブリなど） 怪獣人形	4.2%

☆0～2歳女児（147人中 複数回答含む）

1. 暗い所、暗闇	9.0%
2. 鬼、鬼の面	6.9%
3. 掃除機の音	6.2%
4. おばけ 生き物全般	3.4%

★3～5歳男児（182人中 複数回答含む）

1. おばけ	20.1%
2. 暗い所、暗闇	17.4%
3. 虫（クモ、ゴキブリなど）	10.1%
4. 雷 鬼、鬼の面 犬	6.0%

☆3～5歳女児（119人中 複数回答含む）

1. おばけ	27.0%
2. 虫（クモ、ゴキブリなど）	10.0%
3. 雷	7.0%
4. トイレ 怒ったお母さん	6.0%

★6歳以上男児（46人中 複数回答含む）

1. おばけ	26.2%
2. 暗闇	14.3%
3. トイレ	7.1%

☆6歳以上女児（28人中 複数回答含む）

1. おばけ	17.9%
2. 虫（クモ、ゴキブリなど） 犬 怒ったお母さん	10.7%

※ このアンケートレポートに関しては「子ども調査研究所・渡部 尚美」さんから以下のコメントを
いただいております。

◆こどもが怖がるもの

以前は<地震、雷、火事、オヤジ>が怖いものの代表でしたが、このデータを見ると天変地異があまりあげられていないことや、お父さんもそれほど上位ではないことなど、時代の変化を感じさせています。

こどもも大人も<この先どうなるかわからない>場面や対象に出会うと恐怖や不安を感じます。オバケや暗闇など、想像力がたくましい者ほど先が読めないことによる恐怖を感じるのは、変わっていない
といってよいでしょう。

むしろ昔と変わってないといってよいでしょう。むしろ、このデータ全体で注目すべきは、オバケや暗
闇以外にはそれほど怖いと感じる対象がないことだと思います。

<この先どうなるかわからない>という状況は、不安や恐怖を与えることも事実ですが、同時に<こ
の先どうなるのだろう？>というワクワクした期待をも与えてくれます。つまり天変地異などの怖い対
象をある程度克服した今の私たちの生活は、怖いと感じる対象を減らしたと同時に未来に対するワクワ
クする気持ちも減らしているということです。

小学生以上の流行現象には、<どうなるかわからないからワクワクする>という要素が共通してみら
れています。『たまごっち』は、どのように成長するかわからないから楽しいし、ゲーム『ポケットモ
ンスター』も出会ったモンスターを上手につかまえられるかどうかかわからないからドキドキするの
でしょう。『猿岩石』の2人組の貧乏放浪のドラマがティーンの関心を集めたのも、明日どうなるかが見え
ないからこそでしょう。今、こどもはもちろんのこと、大人もワクワクするような未来に飢えているの
ではないでしょうか。